あぜ道探検団

▲「ここはぼくの庭だワン！」ワンちゃんに道案内をされて探検団一行は出発。

いつも決まった道を車で走っていると気がつかないことがいっぱいあるはず。

日ごろ見落としがちな、自分たちの足もとにあるなにげないことを見つけるため、ＡＳ奈路倶楽部（代表細橋子尋さん）があぜ道探検団を結成。自分たちの奈路で残していきたいもの、こうしたらもっとよくなるもの、そんなものや場所をゲーム感覚で探してみました。

▲旧奈路小学校跡でわき水を発見。飲めるのかな？

◀市役所で交通安全の看板が序幕され、中からは大町市長分する紀貴之がシートベルトの着用を呼びかけます。

▼広域農免道路で久礼田保育所の子供たちが手作りのお守りをサービス、「気をつけてね」と呼びかけました。

4月6日から15日までの、春の全国交通安全運動の期間中、市内でも交通安全を呼びかける催しが行われました。

6日には南国バイパス大浦交差点で一斉街頭指導が行われたあと、市役所では交通安全コミュニケーション行動開始セレモニーが催されました。これには長岡小からも9人が参加。交通安全の黄色い帽子、副読本などの贈呈を受け、「ありがとうございました。新1年生も入って来るので全校で交通安全に取り組みたいです」とお礼を述べました。

12日には交通環境点検調査と題して、危険個所や改善の必要な個所を点検。また、最終日には園児の呼びかけ交通安全が行われました。

晴天に恵まれた3月27日、十市の石土池周辺で、バードランド周回駅伝競争大会が行われました。

これは南国市陸上競技協会の主催で行われたもので、壮年の部、女子の部合わせて11チーム、60人ほどが参加、健脚を競いあいました。なお結果は次の通り。

	【壮年の部】	【女子の部】
1位	高知市A	南国市A
2位	大方町A	〃 B
3位	南国市A	室戸市

探検団には、一歳から七十七歳まで三十人ほどが参加。また、「まちづくりを考える会」の畠中智子さんらもかけつけ、午前十時に奈路公民館を出発。旧奈路小学校跡、マド、新日、六森山を経由、途中昼食を食べて約二時間半の行程。

子供たちはこれまで気づかなかった新しい奈路を発見し、大人たちには、小さいときによく遊んだ風景を懐かしんでいました。

▲めいめいが自分の気に入った場所を提案

◀お昼には見晴らしのいいところでみんなと一緒におにぎりを

▲大森山のふもとからは奈路を一望できます

◀ただ通過するだけじゃなく、五感を通して気づいたこと、感じたことを地図に書きとめる。

畠中さんが各グループの結果を地図にまとめていきます

ートで固められ、自然が壊されつつあることや、空き家が目につき人口減が一目でわかるなどの点でした。

参加者たちは「今日のこの取り組みをこれからの開発にどう役立てるか。良かった点を残しつつ、悪かった点をいかに改善していくかが課題ですね」と成果は上々でした。

めいめい気づいたことを書きとめ、公民館に戻った一行は、三つのグループに分かれ、宝物集め（良かった点）、問題点集めに取り組みました。その結果、奈路地区の誇れる点は美しい自然、美しい風景、石垣など風情のあるたたずまいが残っている点などでした。また、問題点に川がコンクリ

4月5日、池川由野さんが国府寮を慰問、大衆演劇を披露しました。池川さんは、ご自身も右目が不自由で、声帯も摘出しましたが、発声練習などを積み重ね、歌えるまでになりました。

そんな池川さんの姿に励まされたのか、寮の利用者ら参加した120人ほどは熱心に見ていました。

4月10日、岡豊町に念願の和田道場が完成し、落成を祝う式典が行われました。

式では大町市長が「試合ができる道場が完成した。さらに柔道の発展を」と祝辞。門下生を代表して和泉くんが「力いっぱい練習できるのがうれしい」と述べました。

同道場は県の大会で5年連続優勝などの実績があり、現在、保育園児から大学生まで約70人の門下生がおり、中には女の子の姿も。

道場主で師範の和田達盛さんは、「柔道を通して青少年の健全育成を」と、日々献身的な努力を続けています。

十市パークタウンの人口増にともない、教室が足りなくなっていた十市保育所の増築工事起工式が3月30日、関係者や園児ら30人ほどが参加して現地で行われました。

増築されるのは、2教室、50人分にあたる122.56㎡、木造平屋建てで、平成7年7月から共用開始の予定です。